

任期制隊員ライフプラン集合訓練を開催 「自分で描く未来予想図」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 山野太資）は、5月23日から6月6日までの間、各2日間の日程で3回にわたったり、久里浜駐屯地及び座間駐屯地において「平成30年度任期制隊員ライフプラン集合訓練」を実施した。

本訓練は、神奈川県内の部隊等に在籍する入隊後1年以上経過した任期制隊員に対し、明確な自己分析に基づいた自らの人生設計を確立させるとともに、資格取得など能力開発の自助努力を促進させることを目的として実施したもので、58名が参加した。

参加した任期制隊員は、陸曹を目指す者や任期満了後の進路に悩んでいる者など様々であったが、一様に自分の将来について考える良い機会と捉え、真剣なまなざしで訓練に臨んでいた。

特に、部外講師によるキャリア開発プログラムの講義においては、仕事をするときにも最も大切にしていく価値観の視覚化や職業に対する潜在的な興味や関心についてワークシートを用いて確認することで、自らの適性を再認識したり、新たな一面を発見して驚いている隊員などの姿も見られた。

また、社会保障に関する講義においては、貯蓄や生命保険の重要性や退職後、民間企業に就職すると自衛官在職中と比べて支出が増加することなど、金銭面における現実的な話を聞き、将来を見据えたライフプランを作成することの大切さを改めて認識している様子であった。

参加した隊員からは、「これからの人生を考えるうえで、とても参考になる教育だった」などの感想が聞かれた。

神奈川地本は、「12年という短い任期の中で重大な選択を行わなければならない任期制隊員のため、今後でもできる限りのサポートをしていきたい」としている。



講義を受ける任期制隊員

海自「平成30年度第1回就職補導教育」で予備自衛官等制度をPR

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 山野太資）は、6月13日（水）、海上自衛隊横須賀地方総監部で実施された「平成30年度第1回就職補導教育」において、海自任期制隊員30名に対する予備自衛官等の制度説明を行った。

本教育は、概ね1年以内に任期満了による退職を予定している隊員を対象とし、最近の雇用情勢、再就職の心構え及びビジネスマナーについての教育や職業適性検査などが実施されており、神奈川地本は例年、本教育において予備自衛官等の制度説明を行っている。

当日は、予備自衛官等の制度、訓練内容等について紹介、また、即応予備自衛官についても、陸上予備自衛官を経ることにより、海上自衛官も志願が出来ることなど、元海上自衛官の志願実績を例示して分かり易く説明した。

また、28年度末及び29年度末にそれぞれ新編された指定部隊である、第302弾薬中隊（武器科）及び第103補給大隊（需品科）の任務や訓練内容を紹介するとともに即応予備自衛官が所属する部隊の職種や訓練出頭する駐屯地の選択肢が逐次拡大していることなどを説明し、予備自衛官・即応予備自衛官への積極的な志願を呼びかけた。

受講者に対するアンケート調査では、「退職後、予備自衛官に志願したい」「今後、地本担当者から詳しい説明を希望する」など、予備自衛官への志願に興味を示す内容の回答も見られた。

神奈川地本は、「今後もあらゆる機会を活用して、予備自衛官等制度の周知徹底を図るとともに予備自衛官・即応予備自衛官の勢力拡充に努めていきたい」としている。



予備自衛官等制度について聴講する海自任期制隊員

海自「中級管理講習」で予備自衛官等制度説明を実施

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 山野太資）は、6月29日（金）、海上自衛隊第2術科学校で実施された「平成30年度第1回中級管理講習」において、海自隊員71名に対する予備自衛官等の制度説明を行った。

本講習は、3佐以下の幹部及び准・曹の定年退職予定隊員を対象とし、社会への適応性啓発や退職後の生活の安定を図るために必要な知識を付与することを目的として実施されており、神奈川地本は昨年度から本講習において予備自衛官等の制度説明を行っている。

当日は、予備自衛官等の制度、訓練内容等について紹介、また、即応予備自衛官についても、陸上予備自衛官を経ることにより、海上自衛官も志願が出来ることなど、スライドを見せながら分かり易く説明し、予備自衛官への志願及び所属部隊における情報提供を呼びかけた。

受講者からは、訓練出頭が困難になった場合の調整方法などについて熱心な質問が出るなど、予備自衛官への志願に興味を示す受講者の姿も見られた。

神奈川地本は、「今後も同様の機会を活用して、予備自衛官等制度の周知徹底を図るとともに予備自衛官等の勢力拡充に努めていきたい」としている。



予備自衛官等制度について聴講する海自隊員